



当別町高齢者保健福祉計画 当別町介護保険事業計画

第9期（令和6年度～令和8年度）



当 別 町

はじめに

国の65歳以上の高齢者人口は、総務省の統計によると、1950年以降、一貫して増加していましたが、令和5年(2023年)9月15日に発表された推計値では3,623万人で、総人口に占める割合は、29.1%となっております。

当別町の令和6年(2024年)1月1日現在の65歳以上の高齢者人口は5,612人、高齢化率は36.6%となっており、町民のおよそ3人に1人が高齢者という状況であります。

特に、団塊の世代全員が75歳以上となる令和7年(2025年)と、高齢者人口がピークを迎える令和22年(2040年)は節目の年を迎えることとなります。

これらの変化を見据え、第9期では国が示す基本方針に沿いつつも、当別町の地域特性を生かし、前期計画の基本理念である「ともに支え合い安心して生きがいを感じられるまちづくり」を継承し、当別町版地域包括ケアシステムの深化を進め「人生100年時代を支えるまち」の実現を目指してまいります。

介護保険サービス基盤の整備や介護人材の確保など多くの課題はありますが、本町の資源を最大限に生かし課題に取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定にあたりご協力いただきました策定委員の皆様をはじめ、アンケート調査、ヒアリングを通して貴重なご提言をいただきました皆様に心から厚く御礼申し上げます。

令和6年3月

当別町長 後藤正洋

目次

第1章 計画策定にあたって	- 1 -
1 計画策定の趣旨	- 2 -
2 計画期間及び他計画との関連	- 3 -
3 計画策定体制	- 4 -
4 第8期計画の総括と今後の課題	- 6 -
5 当別町版地域包括ケアシステムについて	- 9 -
6 日常生活圏域	- 10 -
7 計画の進行	- 10 -
第2章 町の現状と将来推計	- 11 -
1 高齢者等の現況と推計	- 12 -
2 各種調査結果から見える地域課題	- 15 -
第3章 計画の理念と目標	- 25 -
1 基本理念	- 26 -
2 基本目標	- 27 -
3 施策の体系	- 32 -
第4章 施策の展開	- 35 -
基本目標1 住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくり	- 36 -
第1節 暮らしを支える体制整備	- 36 -
第2節 認知症の方とその家族への支援	- 40 -
第3節 地域の見守りや権利を守る取り組み	- 42 -
基本目標2 健やかに自分らしく暮らせるまちづくり	- 45 -
第1節 健康づくりと介護予防の推進	- 45 -
第2節 社会参加と生きがいつくりの支援	- 47 -
基本目標3 地域とつながり、備えるまちづくり	- 49 -
第1節 つながり合い、支え合う地域づくり	- 49 -
第2節 災害や感染症対策への支援体制整備	- 51 -
第5章 介護保険事業等の見込みと保険料	- 53 -
1 居宅サービス量の見込み	- 54 -
2 地域密着型サービス量の見込み	- 56 -
3 介護保険施設サービス量の見込み	- 57 -
4 介護予防・日常生活支援総合事業量の見込み	- 57 -
5 介護保険事業に係る費用の見込みと保険料	- 58 -
6 介護給付費適正化に向けた取り組み	- 64 -
資料編	- 65 -
1 第9期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定経過	- 66 -
2 福祉資源マップ	- 68 -
3 第9期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員名	- 77 -
4 当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例	- 78 -
5 用語解説	- 80 -